

マツダ純正



タイヤパンク応急修理キット

本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。
タイヤに刺さった釘やネジなどを抜かず、応急修理してください。



■タイヤパンク応急修理キット内には、次のものが格納されています。



修理剤



注入ホース



エアコンプレッサー



予備バルブコア



コアまわし



速度制限シール



取扱説明書

突然のパンクに困らないように

ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限がきる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。期限を過ぎるとゴム分子が固まりクリーム状になってくる上に、液量が減り、パンク穴を塞ぐのに十分な液量がなく、修理できない可能性があります。



修理剤の有効期限について

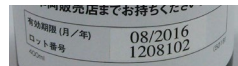
修理剤には有効期限があります。有効期限がきたものは安全性が確保できないため、使用しないでください。

熟老後の様子



液が固化し、
クリーム状に
なっている。

有効期限の表示



有効期限

修理剤(シーラントリアキット)



タイヤパンク応急修理キットの使い方

1 車を交通のさまたげにならない、
地面が平らで固い安全に作業できる場所に移動します。

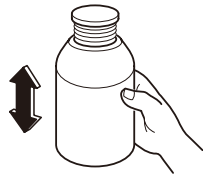
2 マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、
オートマチック車はセレクトレバーをPに入れます。

3 ブレーキペダルを踏んだまま、
パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めます。

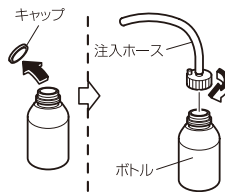
4 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、
停止表示板(停止表示灯)を使用します。

5 人や荷物を降ろし、
タイヤパンク応急修理キットを取り出します。

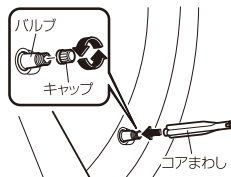
6 修理剤のボトルをよく振ります。



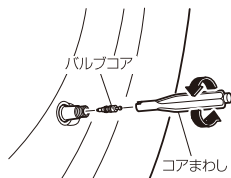
7 ボトルのキャップをはずします。
内ぶたをつけたままの状態
注入ホースをボトルにねじ込むと、
ボトルの内ぶたが破れます。



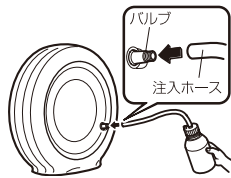
8 パンクしたタイヤのバルブから
キャップを取りはずし、
コアまわしの後ろでバルブ内の
バルブコアを押し
タイヤの空気を完全に抜きます。



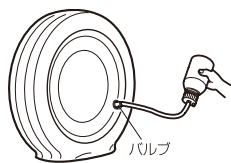
9 コアまわしでバルブコアを
左にまわし、
バルブコアを取りはずします。



10 注入ホースを
バルブに差し込みます。



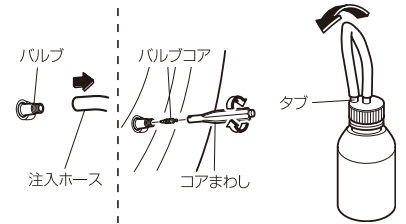
11 ボトルを逆さまにして持ち、
手でボトルを圧迫し、
修理剤をすべてタイヤの中に
注入します。



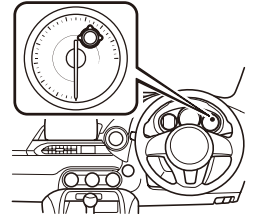
12 注入ホースをバルブから引き抜きます。

13 コアまわしでバルブコアを右にまわし、バルブコアを取り付けます。

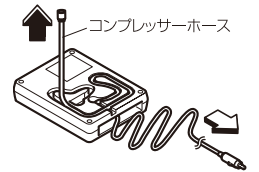
14 残った修理剤が
漏れないように
するために、
注入ホースを
タブに取り付けます。



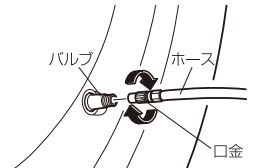
15 運転者のよく見えるところに速
度制限シールを貼ります。



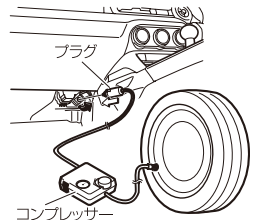
16 エアコンプレッサーから
コンプレッサーホースと
電源プラグを引き出します。



17 エアコンプレッサーの
ホースの口金を右にまわして
バルブに取り付けます。



18 エアコンプレッサーのプラグを
車内の電源ソケットに差し込み、
電源ポジションをACCにします。



19 エアコンプレッサーのスイッチをONにして、
運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで
タイヤの適正空気圧を確認し、適正値まで昇圧します。

20 適正空気圧まで昇圧できたら、
エアコンプレッサーのスイッチをOFFにしエアコンプレッサーの
ホースの口金を左にまわしてバルブから抜きます。

21 バルブキャップを取り付けます。

22 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、
ただちに走行を始めます。

23 10分間もしくは5km程度走行後に手順17の方法でタイヤに
エアコンプレッサーを接続し、エアコンプレッサーに付属
している空気圧計でタイヤ空気圧を確認します。
適正空気圧より低下していたら、
手順18の作業から再度行います。